

1. 補助金支出一覧(令和4年度予算)

一般会計  
(単位:円)

番号	所管	支出名称	支出先	4年度当初	3年度当初	交付目的	事業概要	事業開始年度	終期又は次回検証年度
1	大阪港湾局 計画整備部 振興課	大阪みなと貨物集貨事業補助金	荷主、フォワーダー、 船社	3,000,000	3,000,000	大阪港と府営港湾の両港の特色を活かし、両港連携の貨物への支援を実施することで大阪港における取扱貨物量を増加させ、定期航路の増便や新規定期航路の就航をめざす。	大阪港と府営港湾の両港の特色を活かし、両港連携の貨物への支援を実施することで大阪港における取扱貨物量を増加させ、定期航路の増便や新規定期航路の就航をめざすため、府営港湾の内航ネットワークと大阪港の外航コンテナ航路を組み合わせた貨物の増加や、2港利用航路において貨物を増加した荷主、フォワーダー、船社に対して補助を実施する。 (補助の対象及び補助率) ①府営港湾の内航ネットワークを活用し、大阪港において輸出入を行う増加コンテナ貨物への支援 ・補助率1/2(補助上限:貨物1TEUあたり2,000円) ②大阪港、府営港湾の両港に寄港する航路で輸送される増加コンテナ貨物への支援 ・補助率1/2(補助上限:貨物1TEUあたり2,000円)	R3	R5 (予定)
2	大阪港湾局 計画整備部 振興課	大阪市コンテナ物流滞留対策事業(CONPAS導入)補助金	海運貨物取扱業者、コンテナターミナル運営事業者	49,000,000	55,000,000	新たな港湾情報システム「CONPAS」と海運貨物取扱業者や夢洲のコンテナターミナル運営事業者が所有するシステムの接続を支援し、速やかに各システムを連携させることにより、コンテナターミナルにおけるゲート処理時間短縮等のCONPASの機能を早期に発揮させ、工事車両を含む万博関連車両との輻輳を回避するとともに、物流車両の滞留を早期に解消し、物流交通を円滑化させることを目的とする。	夢洲のコンテナターミナルを利用する海運貨物取扱業者、及び夢洲のコンテナターミナル運営事業者に対し、新たな港湾情報システム「CONPAS」と接続するために必要となる海運貨物取扱業者やコンテナターミナル運営事業者が所有するシステムの改修等に係る費用の一部を補助する。 (補助の対象及び補助率) ①夢洲のコンテナターミナルを利用する海運貨物取扱業者の自社システムとCONPASが情報連携するために要する海運貨物取扱業者の自社システムの改修費 ・補助率:1/3(補助上限:1社あたり50万円) ②夢洲のコンテナターミナル運営事業者の自社システムとCONPASとの情報連携するために要するコンテナターミナル運営事業者の自社システムの改修及びサーバの設置に要する費用 ・補助率:1/3(補助上限:1社あたり1,833万円)	R3	R4 (予定)
3	大阪港湾局 計画整備部 振興課	大阪市コンテナ物流滞留対策事業(CONPAS導入(咲洲))補助金	コンテナターミナル運営事業者	26,667,000		新たな港湾情報システム「CONPAS」と咲洲のコンテナターミナル運営事業者が所有するシステムの接続を支援し、速やかに各システムを連携させることにより、コンテナターミナルにおけるゲート処理時間短縮等のCONPASの機能を早期に発揮させ、物流車両の滞留を早期に解消し、物流交通を円滑化させることを目的とする。	咲洲のコンテナターミナル運営事業者に対し、新たな港湾情報システム「CONPAS」と接続するために必要となるコンテナターミナル運営事業者が所有するシステムの改修等に係る費用の一部を補助する。 (補助の対象及び補助率) 咲洲のコンテナターミナル運営事業者の自社システムとCONPASとの情報連携するために要するコンテナターミナル運営事業者の自社システムの改修及びサーバの設置に要する費用 ・補助率:1/3(補助上限:1社あたり26,666千円)	R4	R6 (予定)
合計				78,667,000	58,000,000				